

4月末に調査した2007年5月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2007年5月の消費意欲は、先月から1.6ポイント増加し、
52.9点でした。

前年同月比は1.6ポイント減少、3ヶ月連続で前年割れとなる。

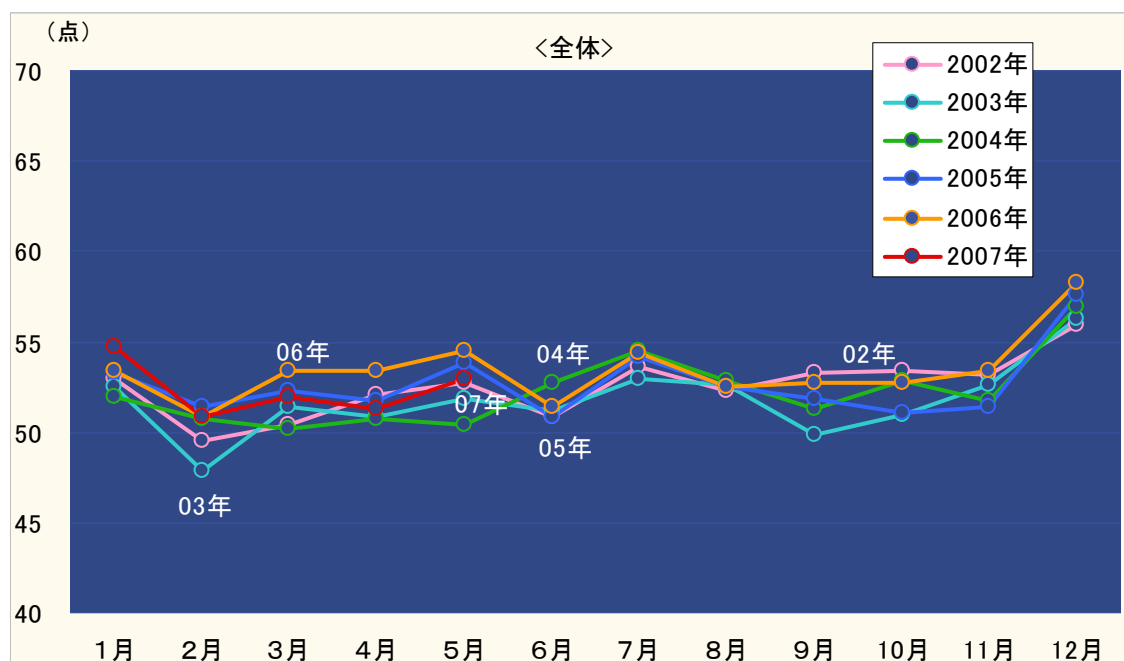
■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

4月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者420名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2007年5月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「5月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2007年5月の消費意欲指数は、先月から1.6ポイント増加し、52.9点でした。

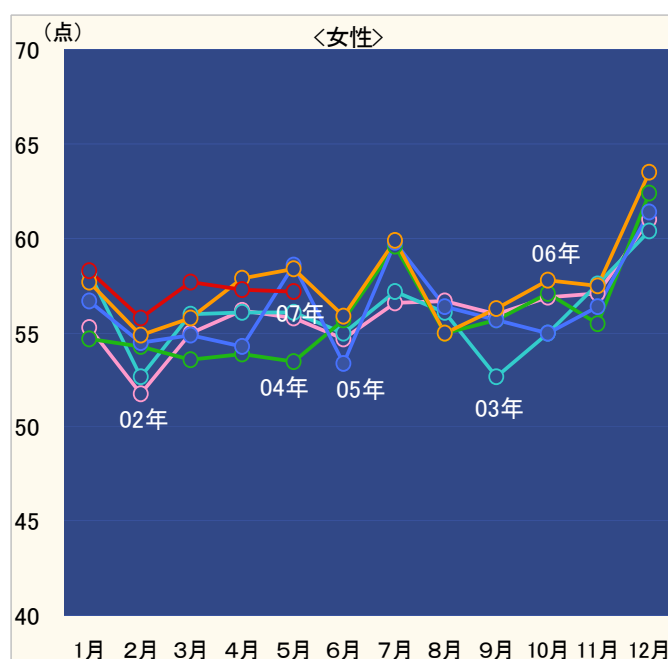
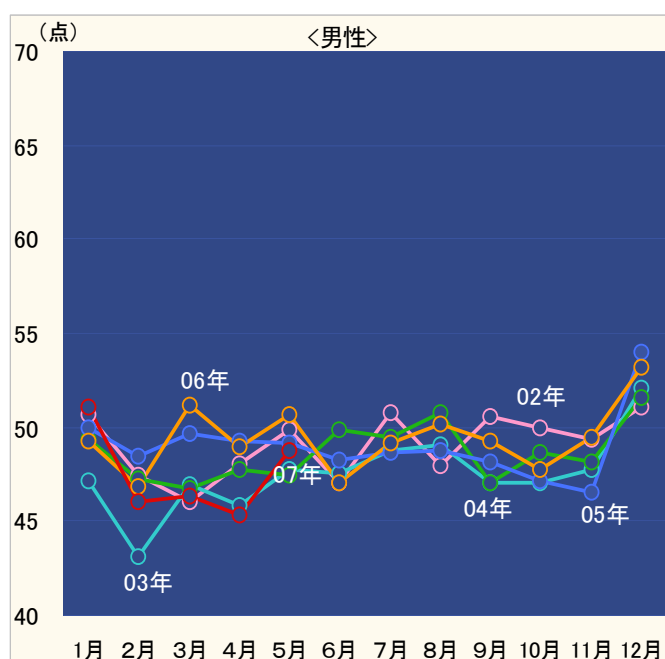
5月の消費意欲指数は先月より1.6ポイント増加し、52.9点でした。一方、前年同月比では1.6ポイントの減少となり3ヶ月連続の前年割れとなりました。経年で比較すると、消費意欲指数は3、4、5月ともこの3年間で最も低くなっており、低迷が回復しません。また、5月中旬に発表された政府の景気動向指数の基調判断は「このところ弱含み」となっていますが、家計に直結するこの夏の主要企業のボーナスは5年連続でプラスとなっており、これが6月の消費意欲にどの程度影響するかを注目していきたいところです。



■ 男性の消費意欲がやや回復、女性の消費意欲に翳り。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比+3.5ポイントで48.8点と回復しましたが、前年同月比は-1.9ポイントで4ヶ月連続の前年割れとなっています。女性は先月比-0.2ポイントで57.1点、前年同月比は-1.2ポイントとなり、こちらも先月に続き前年割れとなりました。女性は先月に比べて前年比の減少幅が拡大しており、好調を維持してきた女性の消費意欲にも多少翳りが見えてきたのが気になります。

同時調査の生活力点では、「モノ消費」項目では、「日常的買い物」「中くらいの買い物」「大きな値の張る買い物」いずれも男性は先月に続き低い数値となっていますが、女性は平均よりもやや高めの数値になっています。また、男女とも季節柄、行動的になっているのか、「趣味・遊び」「余暇・レジャー」の数値が高くなっており、今後このあたりの伸びに期待したいところです。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://www.seikatsusoken.jp/>) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要:HILL ネット調査】

調査地域:首都圏/ 調査対象者: 19~73才の男女個人420人/ 調査方法:郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

